

平成28年第4回(12月)
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	中野敏郎
2	本田芳枝
3	田川正治
4	太田健策
5	木村優子
6	安藤和寿
7	福永善之
8	久我純治
9	長義晴
10	川口晃
11	小池弘基
12	山脇秀隆

通告順 NO. 2 質問者 12番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ふれあいバスの今後の方向性を明確に	<p>バス運行協議会の答申や子ども議会での一般質問の通告内容などから、現在のふれあいバスの運行は今のままでは不備があり不十分だということが明確になった。それが第5次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標などの施策展開に挙げられた大きな要因ではないか。都市政策部として住民のニーズを反映させていくべきだという9月の答弁を踏まえて今後の方策を問う。</p> <p>(1) その後の、9月より11月までの動きは</p> <p>(2) 近隣町の予算・利用者数などで参考になる点は</p> <p>(3) 交通弱者とは、地域公共交通とは</p> <p>(4) 交通弱者と地域公共交通の空白地域をなくす方策を絡めた粕屋町の特性を活かしたまちづくりを</p>	都市政策部長
歳入における繰越金の考えを問う	<p>粕屋町の27年度の決算の認定、28年度9月補正予算に対して反対した。それは繰越金に対する町の姿勢が甘いと思えたからだ。来年の3月の29年度の予算案、28年度の最終補正予算案をより良いものにするために執行部の考えを問う。</p> <p>(1) 繰越金とは</p> <p>(2) 地方財政法の規定を活かしているか</p>	町 長

通告順 NO. 3 質問者 9番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>公共施設等総合管理計画にもとづく老朽化した保育所や町営住宅の建て替えについて</p>	<p>(1) 公共施設等総合管理計画の進捗状況について</p> <p>(2) 老朽化した中央保育所と仲原保育所を、町立保育所として建替え、待機児童を解消することについて</p> <p>(3) 老朽化した町営住宅の建て替えを行い、入居者の総数を増やす対策について</p>	<p>町長 (所管部長)</p>
<p>新学校給食センター建設の予算にともなう建設状況と産業廃棄物による危険性の除去対策について</p>	<p>(1) 総事業費68億円の予算執行の状況について</p> <p>(2) 国の交付金について</p> <p>(3) 工事中断による遅延損害金の支払いについて</p> <p>(4) 産業廃棄物によるガス事故対策の除去工事について</p> <p>(5) 子どもに安全安心な給食を提供することについて</p>	<p>町長 (給食センター準備室長)</p>

通告順 NO. 4 質問者 6番 太田 健 策

質問事項	質問の要旨	質問の相手
給食センターの廃棄物対策について	<p>(1) 町長は昨年、給食センターの工事を一時ストップされて専門家に調査を依頼されましたが、その時の対策について、どのように考えてされたのか</p> <p>(2) 遅延損害金について 契約書の中ではどのようにうたっているのか</p> <p>(3) 開業の時期が遅れたのは、どういう理由であったのか</p> <p>(4) 平成27年度の廃棄物処理について 工事の種類と1㎡当たりのt数と廃棄物の種類と深さ</p> <p>(5) 平成28年度の廃棄物について 9月議会の報告では、西松建設が附属棟、排水処理、水素排水処理室の掘削工事で廃棄物の処理量として297tで金額は450万円、九電工は給水設備、排水設備、電気工事等の掘削工事で約219t、金額で495万円と答えてありますが、それぞれの工事別で示して下さい</p>	町長 (給食センター準備室長)
平成27年度の粕屋町の入札結果について	<p>(1) 平成28年8月30日の西日本新聞の記事によると、福岡県鞍手町から入手した5年間の資料によると、493件は土木建築などの事業で、いずれも指名競争入札で、すべての予定価格を事前公表していた。402件で落札率95%を超えており、このうち115件は99%台であった。一般的に落札率が90%を超えると、競争の原理が働いていない可能性があると言われ、談合を疑われても仕方がないと市民オンブズマン福岡は指摘している。そこで粕屋町の落札率について問う</p> <p>(2) 政府は、2011年8月予定価格の事前公表について「談合が容易に行われる可能性がある」として弊害が生じた場合は速やかにやめるよう求めているが、町の対応は</p> <p>(3) 町は、できるだけ多くの業者に門戸を開く一般競争を導入するなど、さらに踏み込んだ対策を講じるべきではないか</p>	町長 (所管部課長)

通告順 NO. 5 質問者 3番 木村 優子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>食品ロス削減に向けた取り組みについて</p>	<p>食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は家庭やスーパー、ホテルやレストランなどあらゆるところで見受けられます。</p> <p>農林水産省によると、日本では年間2797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうち632万トンが食品ロスと推計されています。</p> <p>すでに先進的な自治体では、様々な食品ロス対策が行われてきています。</p> <p>我が町の取り組み及び今後の対策について以下質問します。</p> <p>(1) 学校や幼稚園、保育所など教育施設における学校給食や食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 町民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けた取り組みを進めることが重要と考えるがどうか</p> <p>(3) 我が町の災害備蓄食品についての取り決めは</p> <p>(4) 福岡県も呼びかけている「30・10（さんまるいちまる）運動」を我が町でも積極的に推進を</p>	<p>町長 教育長</p>

通告順 NO. 6 質問者 1番 安藤 和寿

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>公民館の新しい有効活用について</p>	<p>近年社会情勢の移り変わりとともに公民館の果たす役割も変化が生じてきており、今後さらなる有効的な発展に向けた、地域内活性化に新たな役割が期待されてきていますが、公民館をより一層有効に活用する方策についてどの様にお考えでしょうか。</p> <p>(1) 2016年夏、気温は38度を超える記録的な猛暑となりましたが、熱中症対策として期間を設け公民館を開放する等、町民にとって居場所・交流・情報発信の場としてラウンジ・サロンとして活用は出来ませんか</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>JR原町駅地下人道掲示板について</p>	<p>人道に設置してある掲示板及び施設の管理についてお尋ねします。</p> <p>(1) 美化、掲示広告、掲示物の定義、サポーターの仕組み</p>	<p>所管部課長</p>
<p>小中学校のトイレについて</p>	<p>人口増加に伴い小中学校の校舎増築工事並びに耐震化等により新設、改修が行われていますが、災害時に避難する高齢者や障がい者の方が使いやすいよう屋内外トイレのバリアフリー・洋式化・今後の男子トイレについてお尋ねします。</p>	<p>町長 教育長</p>

通告順 NO. 7 質問者 7番 福永善之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
待機児童対策について	<p>待機児童対策に関し、総合的に聞く。</p> <p>(1) 町立3園の今後の方向性及び、現在ある待機児の解消策について問う</p> <p>(2) 町長の公約である福岡県で一番子育てしやすい町づくりについて問う</p>	町長

通告順 NO. 8 質問者 11番 久我純治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
待機児童対策は	9月議会では、優先順位は待機児童対策でなく町立保育所の建物の老朽化での建て替えが先で、人の命を預かるとの回答でしたが、我が町は待機児童が増えるばかりです。具体的な計画又、建て替えるためのその後の進捗状況は。	町長
水鳥橋跡は今後どうするか	町のシンボルの駕与丁公園の残った橋ゲタ。町内外の多くの人たちが橋の再建を求めています。	町長
一灯点滅式信号機は出来ないのですか	東中学校近くの長者原・江辻線の無信号の四つ角は事故が多く起き、危険な上、中学生徒や高校生たちのランニングコースでもあるが、何らかの対策が必要では。	町長

通告順 NO. 9 質問者 10番 長 義 晴

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>粕屋町公共施設等総合管理計画について問う</p>	<p>前執行部において公共施設等総合管理計画策定については平成28年2月完了を目指して策定すると答弁されていましたが、町長交替後の3月議会一般質問で検討協議が調っていない為に9月議会まで猶予の答弁があり、9月定例会で総合管理計画策定の概要について説明されましたが、報告内容は多くの議員は期待外れの報告であったと感じられていたと思われます。</p> <p>何故なら、せめて今後3～4年の間に着手される施設の優先順位、或いは主な施設についてでも報告がされるものと期待していましたが、策定内容は今後40年間の公共施設等のマネジメントの期間と事業費用調査検討結果から年平均経費の概要が、公共施設で9.5億円、インフラ施設においては10億円との説明を受けましたが、以下の質問をします。</p> <p>(1) 平成25年度以降における公共施設等総合管理経費は年平均どれくらいになっていますか</p> <p>(2) 主な公共施設の優先順位と一般会計に占める公共施設等の予算配分はどのように考えてありますか</p> <p>(3) 財源はどのように考えてありますか</p>	<p>町 長</p>
<p>学校給食共同調理場建設に伴う遅延損害金について問う</p>	<p>新給食センターの建設地は以前町が一般廃棄物の処分場として使用していた土地でございます。安全・安心の町づくりの観点から、児童生徒の命にかかわる給食センターをこのような土地に建設していいのかと言う判断から、平成27年12月3日に事業者同席の上で、工事の一時中止（中断）を申し入れされ、町長は粕屋町民各位に対し12月9日付で住民説明会の回覧をし12月19日、20日の両日4会場で説明会を開催されて住民の建設に対する賛否は半々（町の見解）で、「安全対策を講じて現在地での工事再開」を決断され、供用開始は半年遅れの平成29年4月となりましたが、結果的に工事中断による遅延損害金について協議されていますがその内容について問う。</p> <p>(1) 現在までの協議内容と金額はどのようになっているか</p> <p>(2) 工事中断する事は遅延損害金発生の可能性も予想されたのか</p> <p>(3) 町長は遅延損害金等については払う意思がないのに、一方で協議されているのは矛盾していませんか。また、裁判も辞さないと言われ今日まで発言されて来ましたが変わりはないですか</p> <p>(4) 遅延損害金発生について議員の一般質問で町民に説明すると答弁されていますが変わりないですか。また、説明の時期はいつ頃どう言う形でされますか</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 10 質問者 4番 川口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
幼児教育問題	(1) 町立幼稚園に空調設備の設置を (2) 因町長の公約である「各幼稚園で2歳児からの短時間預かりを考えています」の実行はどのようになっていますか	町長 教育長
学校教育問題	(1) 小中学校のトイレの改修問題 (2) 教員定数問題 政府の定数枠の拡大、非正規教員の定員化に関して (3) 教員の過労の問題 教員の勤務時間・超過勤務の実態は	町長 教育長
各種の税の問題について	(1) 町税として得られる税の種類は何種類ほどあるのか。 例えば、固定資産税・住民税・地方消費税など (2) 法人会社の軽減税率の問題 (3) 法人住民税の実態はどうなっているか	町長
RDF問題について	(1) 県と電源開発は2022年度末で、事業を終了する意向であるが、町（町長）としてはどのように考えられるか (2) 今後、考えられる出費はどのようなものがあり、今後の展開についてはどのような事が考えられるか	町長

通告順 NO. 11 質問者 8番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町長の選挙公約にありました九州大学原町農場の跡地利用について	<p>因辰美町長は、昨年10月に行われた町長選挙での公約に企業誘致など跡地の有効利用を打ち出されました。現在、約1300年前の飛鳥時代の遺跡が出土した事により約3年間にわたり遺跡の範囲を調査するための試掘が行われ今年、28年3月をもって調査が完了しました。</p> <p>粕屋中学校前の東外環状線の延伸工事の現状や、遺跡指定の考えや、また企業誘致など現在わかる範囲での今後のスケジュールなど考えを尋ねます。</p>	町長
バリアフリーの充実について	<p>現在、国の方針において、高齢者や障がい者など、あらゆる人たちが社会活動に参加し、自己実現できるために、近年建築物や交通機関などにおいて着実にバリアフリー化が進められてきました。しかしそこで、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が制定されることにより、従来対象となっていた建築物、公共交通機関、道路に加えて、路外駐車場、都市公園にも、バリアフリー化基準（移動等円滑化基準）への適合が求められるなど、バリアフリー化が促進されます。また、駅を中心とした地区や、高齢者、障がい者などが利用する施設が集中する地区において、面的なバリアフリー化が進められるなか本町の現状と具体的な取組や対策について尋ねます。</p> <p>(1) 本町にはJRの駅が6駅有りますが、エレベーターの設置されている駅は、長者原駅しかなく、障がい者の方のみならず、子育ての方、とりわけベビーカーの利用者、また高齢者の方が、階段の上り下りに大変な不便を感じておられておられることと思います。特にJR原町駅は階段が30段と大変長く、障がい者の方はもとより、ベビーカーの方、また高齢者の方などはJR長者原駅を利用されている方も多いと思われます。また、歩道の段差への対策も十分ではありませんので一日も早く改善すべきと思いますので考えを尋ねます</p>	町長

通告順 NO. 12 質問者 13番 山脇 秀隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
健康寿命を延ばす取り組みについて	<p>人生90年時代を迎えつつあります。平均寿命は、男性80歳、女性86歳であり65歳を迎えた人は、平均的に男性84歳、女性89歳まで生きるといわれています。現在では、75歳以上の後期高齢者が急増しており日本は世界に先駆けて超高齢社会に向かっています。高齢化社会は、様々な問題を抱えておりその解決策として自立している期間、健康寿命を延ばすことが重要だといわれています。そのための地域包括ケアの取り組み等が考えられます。</p> <p>(1) 粕屋町の生活習慣病予防対策を聞く</p> <p>(2) 在宅医療の普及が不可欠だが</p> <p>(3) 高齢者が生きがいをもって地域で就労できることが求められるが</p> <p>(4) 生活困窮者支援制度の取り組みを聞く</p>	町長
平成29年度の枠組み予算編成について	<p>平成29年度予算について行財政運営方針を踏まえ予算編成の枠組みや要領が各課に示されたと思う。</p> <p>(1) 政策推進上の課題や経営資源の配分の方針を聞く</p> <p>(2) 積算基準について</p> <p>(3) 予算編成にあたっての留意事項について</p>	町長